

# AOYAMA OIKOS NOMOS



青山学院大学経済学部同窓会会報

2008. 2. 15 アオヤマオイコスノモス 第13号

## 「新しい公共社会の実現に向けて」

経済学部「現代経済デザイン学科」が新設されます

経済学部准教授

宮原 勝一



既に、大学や経済学部のホームページ、新聞等で広報されていますので、ご存知の方も多いたと思いますが、この4月（2008年4月）、経済学部新しい学科「現代経済デザイン学科」が開設されます。この名称を聞いて・見て、「どのような学科?」、「何をする学科?」、「奇を衒った名称」などと思われた方がいるかもしれません。興味を持って頂ければ、我々の目的の一つは達成されるわけですが、この名称は決して奇を衒ったものではありません。「経済」と「デザイン」、一見無縁のようですが、2007年のノーベル経済学賞が「メカニズム・デザイン理論」を構築した業績（レオニード・ハーヴィッチ、エリック・マスキン、ロジャー・メイヤソンの3氏）に授与されたことから、強ち無縁ではないことが分かって頂けると思います。メカニズム・デザインは、「制度設計」とも表されますが、多様化、複雑化した現代社会に、最も効率的で適切に機能する制度を設計（デザイン）するもので、取引や規制、企業金融、課税理論、政府の入札設計など、経済学や政治学の分野でも応用されています。市場は万能ではなく、それを是正する政府も万能ではありません。このような中、市場経済が生み出した「ひずみ」を解決する一つの動きとして、近年では、地域・コミュニティやNPO等の非営利団体が、政府あるいは行政に代わって新たな「公の領域」を創り出し、活動しています。新学科は、こうした経済社会の変革に対応して、経済学に基礎を置き、公共のあり方やその中での地域・コミュニティの役割に焦点をあてて、新しい公共社会の実現に向けた制度を設計（デザイン）する、未来志向型の人材を育てるための実践的な教育を行います。こうした思いが、「現代経済デザイン」に込められています。名称に終始してしまい、新学科の具体的な中身には触れられませんが、詳細はホームページ（<http://www.econ.aoyama.ac.jp/jp/new/index.html>）をご参照下さい。経済学部の新しい試みに、同窓会の皆様応援の程よろしくお願い致します。

既に、大学や経済学部のホームページ、新聞等で広報されていますので、ご存知の方も多いたと思いますが、この4月（2008年4月）、経済学部新しい学科「現代経済デザイン学科」が開設されます。この名称を聞いて・見て、「どのような学科?」、「何をする学科?」、「奇を衒った名称」などと思われた方がいるかもしれません。興味を持って頂ければ、我々の目的の一つは達成されるわけですが、この名称は決して奇を衒ったものではありません。「経済」と「デザイン」、一見無縁のようですが、2007年のノーベル経済学賞が「メカニズム・デザイン理論」を構築した業績（レオニード・ハーヴィッチ、エリック・マスキン、ロジャー・メイヤソンの3氏）に授与されたことから、強ち無縁ではないことが分かって頂けると思います。メカニズム・デザインは、「制度設計」とも表されますが、多様化、複雑化した現代社会に、最も効率的で適切に機能する制度を設計（デザイン）するもので、取引や規制、企業金融、課税理論、政府の入札設計など、経済学や政治学の分野でも応用されています。市場は万能ではなく、それを是正する政府も万能ではありません。このような中、市場経済が生み出した「ひずみ」を解決する一つの動きとして、近年では、地域・コミュニティやNPO等の非営利団体が、政府あるいは行政に代わって新たな「公の領域」を創り出し、活動しています。新学科は、こうした経済社会の変革に対応して、経済学に基礎を置き、公共のあり方やその中での地域・コミュニティの役割に焦点をあてて、新しい公共社会の実現に向けた制度を設計（デザイン）する、未来志向型の人材を育てるための実践的な教育を行います。こうした思いが、「現代経済デザイン」に込められています。名称に終始してしまい、新学科の具体的な中身には触れられませんが、詳細はホームページ（<http://www.econ.aoyama.ac.jp/jp/new/index.html>）をご参照下さい。経済学部の新しい試みに、同窓会の皆様応援の程よろしくお願い致します。

## 経済学部ゼミナール連合設立総会・設立記念会(2007年12月12日)

青学会館校友会室Aにて経済学部ゼミナール連合の設立総会・設立記念会が行なわれました。当日は各ゼミ代表の学生、先生方を含め70名近くが参加しました。同窓会からは天野会長が出席しました。

4年生の石井優樹（美添ゼミ）代表、3年生の片山未央（米澤ゼミ）・日高耕太郎（中村ゼミ）両副代表を筆頭に各ゼミナール間・教務課そして卒業生との交流を活性化させ、学生自身の成長と経済学部の発展に寄与する決意表明の場となりました。

経済学部の各ゼミの学生同士のネットワークが広がり、ゼミ生に貢献できる活動が実現できるよう、私たち同窓生も応援していきたいと思っております。



# 「政府はなぜ存在するのか? — 財政学(抄)」を聴いて

経済学部同窓会幹事会—矢吹初経済学部教授講演—

高橋 友季子 ('04)

2008年1月17日(木)経済学部教授の矢吹初氏('88)による講演会が開催されました。

「なぜ政府は存在しているのか? 政府は既に存在していて租税や年金などわれわれの日常に大きな影響を及ぼしています。このため政府がなぜ存在しているのかという、より本質的な問題を考察していないことが通常です。ちなみに今回の講演のレジメは最後にお渡しします。」この言葉を聞いた私達は姿勢を正しメモを取る態勢になりました。これが矢吹先生マジック。自然と集中できる授業を思い出しました。

では、皆様に講演内容をお届けします。

経済は市場経済と非市場経済の2つに分割されている。政府の存在理由は市場で取引できない非市場経済に属している道路や公園などを提供することだが、非市場経済で提供できるモノをなぜ市場が提供できないのかを知っておく必要がある。道路を作ることを考えてみる。土地の私的所有は市場経済に属すると考えられるので「私的な所有が認められている限り住みたい人が住んでよい」と自発的意思決定が優先される。これでは道路が作れないので「個人の土地の所有権を制限しなければならない」ことがわかる。この自発的意思決定を制限できるのは強制力を持つ国家(政府)であり、この強制力(租税、軍事、警察)を利用して個人の自発的意思決定



を制限し非市場経済を提供する。答えは「国民は自らの自由意思を制限しなければ非市場経済を形成できないことを知っているので政府に自らの権利の一部を譲渡して政府に強制力を持たせ非市場経済を形成させているのである」となる。また憲法にも触れながら「国家の活動はすべて国民の権利から形成されている」「国家の活動によって生じた結果はすべて国民が被る」「国民は勉強してきちんとした判断をくだせるようにならなければならない」とも。

先生の講演会は普通の授業のようでした。その後の懇親会では沢山の方が先生に質問されていました。是非、皆様も学生に戻った気分でご参加ください。

## ホームページリニューアル

経済学部同窓会の記念すべき最初のホームページは前副幹事長沼尻剛氏('93)が中心となり、経済学部ホームページに間借りする形で開設され、運用されて参りました。

この度水口翼氏(株式会社サイブリッジ社長:経済学部出身)の御協力で、2007年8月からリニューアルする事になりました。プロの手による綺麗なページを開設致しました。

これを期に新しい電子メール及びホームページは以下ようになります。

電子メール info@oikos-nomos.com

新ホームページ http://oikos-nomos.com/

各アドレスには同窓会誌「オイコスノモス」の名前を頂戴しております。お陰さまで更新が頻繁にできるようになりました。

まだ至らない点が多々あるかと思えます。皆様からのホームページや電子メールへの御意見をお待ちしております。



## 第9回経済学部同窓会主催講演会のご案内

恒例になりました当同窓会主催の公開講演会も第9回目を迎えました。今回は慶應義塾大学客員教授の中島隆信氏に「オバサンの経済学」というタイトルで、ご講演をお願いしております。

中島先生は、「費用構造」や「生産性分析」等をご専門とされる経済学者ですが、お寺、大相撲等についても経済学的な観点から分析をされるというユニークな研究でも知られています。今回は「オバサン」をテーマにしましたが、なぜ若い時は可愛らしい女性でも、ある一定の年齢になると「オバサン化現象」で中性化していくのか、その「オバサン」の行動も実は経済学的に見るとそれなりの合理性があり、社会的な価値もあるというのが中島先生の分析です。

オジサンとの比較も披露して頂けるかも知れません。この続きはぜひ講演会で……



日 時：3月19日（水）18：45～20：00

場 所：青山キャンパス総研ビル3階・第11会議室

テ ー マ：『オバサンの経済学』

講 師：慶應義塾大学商学部客員教授 中島 隆信氏

講師略歴：1960年（昭和35年）神奈川県生まれ

1983年（昭和58年）慶應義塾大学経済学部卒業

1993～95年 Yale大学 Economic Growth Center訪問研究員

2001年～ 慶應義塾大学商学部客員教授

主な著書：『日本経済の生産性分析』（日本経済新聞社、2001年）

『大相撲の経済学』（東洋経済新報社、2003年）

『お寺の経済学』（東洋経済新報社、2005年）

『これも経済学だ』（筑摩書房、2006年）他多数

◆入場無料 経済学部同窓会会員以外の方のご参加も大歓迎です。お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

◆この公開講演会は、経済学部同窓会会員の年間維持会費により運営されております。

## 「経済学部同窓会給付奨学金」

2008年度は3名へ給付されます。

経済学部同窓会は会員サービス充実の一環として、会員の自己啓発・研鑽を図る目的で「公開講演会（無料）」を定期的に開催していますが、講師・講演内容共に素晴らしいと参加された会員から好評を博しています。

また、母校への支援の一環として、経済学部の後輩を応援するため「経済学部同窓会給付型奨学金」を創設しました。

「奨学金」は'04年度から毎年15万円を2名の学生に給付してまいりました。会員の年会費収入に加え、MITE-BOXへの「ワンコイン・ドネーション」、同窓会主催の「スカラシップ・チャリティゴルフ大会」など、皆様のご支援により'07年度までに15万円を超える寄付が集まりました。

そこで、'08年度は更に1名増やし、3名に給付することにしました。奨学金は経済学部3年生3名に給付いたします。

「青山学院EVERGREEN21募金」協賛キャンペーンの'06年4月から'07年12月迄の団体別協力状況報告書には当該期間の累計105万円が「大学経済学部同窓会（冠奨学金）」としてキャンペーンニュース並びに校友会本部ホームページに掲載されております。

'04年度及び'05年度の寄付金計60万円を加え、創設以来の奨学金給付金額は累計165万円となります。

### 奨学金の支給履歴

2004年度	2名
2005年度	2名
2006年度	2名
2007年度	2名
2008年度	3名
累計	11名(165万円)

# INFORMATION

- ◆ 2008. 3.13(木) 第7回常任幹事会
- ◆ 3.19(水) 経済学部同窓会主催第9回公開講演会
- ◆ 3.25(火) 新卒業生入会勧誘
- ◆ 3.29(土) イースターコンサート
- ◆ 5月又は6月 2008年度総会・講演会・懇親会

## EASTER CONCERT参加のお願い

経済学部同窓会  
会長 天野 知恒

校友による「第1回イースター・コンサート」を大学部会主催により開催することになりました。

卒業生・在学生のみならず、出来るだけ多くの方々にお越しいただけることを願っております。ご家族・ご友人など、お誘い合わせのうえ参加くださることをお待ちしております。

### 記

1. 日時：2008年3月29日(土)  
開場：12:30  
開演：13:00・終演：17:00頃予定  
第一部：復活祭礼拝  
第二部：青山学院大学音楽関連団体演奏会  
(OB/OG&現役在学生による)
  2. 会場：青山学院大学 青山キャンパス  
ガウチャー記念礼拝堂
  3. 入場料：1000円(6歳未満は無料)  
“イースターエッグ(お菓子)”を準備しています。楽しみにお待ちください。
  4. 出演団体：(順不同)
    - ・大学聖歌隊/ハルモニア(聖歌隊OB・OG)合同  
“奥深い感動と賛美する喜びを”
    - ・大学第二部聖歌隊  
“春を告げる聖なる美声”
    - ・大学ハンドベルクワイア  
“ガウチャーに共鳴するベルの響き”
    - ・青山学院管弦楽団(有志)  
“弦楽五重奏の色彩豊かなアンサンブル”
    - ・青山ピアノソサイエティ  
“粒ぞろいの個性を鍵盤の響きに”
    - ・琴・尺八研究会  
“イースターに活きる和楽器の神髄”
    - ・Blue Mountain Boys(OB)  
“ブルーグラスできらめく  
アコースティックワールドへ”
    - ・URC(United Rhythm Carriers)  
“聴衆を揺さぶる魂のヴォーカル”
- 幅広い音楽ジャンルの団体に参加いただき、復活の時を奏でます。
5. お問合せ&チケットのお申込み：
 

集計の関係上、3月7日までにご希望枚数を大学部会事務局までお申込みください。  
またその際、経済学部出身&卒業年度をお知らせください。  
「チケット」&「振込用紙」を郵送させていただきます。  
受付窓口：青山学院大学部会事務局  
月・水・金 10:00-16:00  
TEL/FAX：03-3409-8990  
Email：agualum@netlaputa.ne.jp

校友会大学部会として初の試みです。ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。以上。

## 2006年度(平成18年度) 収支報告書

自 2006年4月1日 至 2007年3月31日

### 収入の部

(単位:円)

科目	決算額	次年度予算
1. 会費収入	2,017,000	2,390,000
2. その他収入	593,794	600,000
1) 雑収入	30,000	30,000
2) 預金利息	788	20,000
3) 寄付	172,586	150,000
4) 校友会大学部会補助	390,420	350,000
5) その他	0	50,000
当期収入合計	2,610,794	2,990,000
前期繰越金	10,448,807	10,513,181
収入合計	13,059,601	13,503,181

### 支出の部

(単位:円)

科目	決算額	次年度予算
1. 事業費	368,924	400,000
2. 会報発行費	120,750	400,000
3. 印刷費	212,209	400,000
4. 通信交通費	475,590	500,000
5. 会議費	118,650	200,000
6. 事務費	23,769	100,000
7. 名簿管理費	500,000	500,000
8. 奨学金*	600,000	450,000
9. 雑費(含む加盟費)	96,423	140,000
10. その他	30,105	50,000
当期支出合計	2,546,420	3,140,000
当期収支差額	64,374	-150,000
前期繰越金	10,448,807	10,513,181
次期繰越金	10,513,181	10,363,181

注：「奨学金\*」決算額の600,000円は'06、'07年度奨学金  
次年度予算の450,000円は'08年度奨学金

## 編集後記

石井 信之('66)

本号は経済学部になたな出発を告げる2つの記事を一面に掲載しました。1つは新学科の発足について、新学科の中核を担う宮原先生の意欲表明です。聞きなれない学科名について簡潔に説明されておりますので、皆様からもPRの程宜しくお願い致します。又、もう一つゼミ連発足はゼミ学生の横のつながりと卒業生の縦のつながりの両方を絡み合わせて強力な学部内の結束を目指すことを意図しております。その他いくつかの本年の行事・企画についても掲載されています。皆様の御参加、皆様からの御意見を切望致す次第です。

青山学院大学経済学部同窓会会報 第13号

2008年2月15日発行

発行者 天野 知恒

発行所 青山学院大学経済学部同窓会

(青山学院大学経済学部・石井信之研究室内)

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-8111 (内線12817)

皆様からの情報やご投稿、入会申込、会費納入等のお問合せは下記へ!

〒150-8691 渋谷郵便局 私書箱145号

ホームページ: <http://oikos-nomos.com/>

E-mail: [info@oikos-nomos.com](mailto:info@oikos-nomos.com)